



ももたろう

桃太郎は 何をした？

ほんとう

～本当のことってなんだろう～

もも う ももたろう
桃から産まれた【桃太郎】

きびだんごを持って、犬キジ猿をお供に連れて
おにたいじ
さあ、鬼退治へ！

ゆうめい にほんむかしばなし ももたろう
有名な 日本昔話 の桃太郎

ももたろう おに たいじ
桃太郎が鬼を退治してハッピーエンド

はなし
だけどこのお話、

ほんとう
本当にハッピーエンドなのかな？

ものがたり してん よ と
1つの物語をいろいろな視点から読み解いて

かく ものがたり さが
隠された物語を探してみよう！

やってみよう！--その1--

ももたろう なか しんじつ ▶▶『桃太郎』の中の真実◀◀

むかしなばし ももたろう よ ものがたり なか じっさい ぱ お そんざい
昔話『桃太郎』を読んで、物語の中で実際にその場で起こったことや存在していたものを
か か だ ほんとう ものがたり か いちど ものがたり よ
書いてみよう。書き出したらそれが本当に物語に書かれているか、もう一度物語を読みな
がら確認してみよう。自分の頭の中で想像したことが混ざってないかな？



なに
何があった？

ばしょ
どんな場所？

だれ
誰がいる？

つぎ はなし なか か な かんが
次は、お話の中で、はっきりと書かれていないこと、あいまいなことが無いか考えてみよ
う。どうして○○？どんな○○？本当に○○？と考えてみると、いつもとは違う物語が見
えてくるかもしれないよ。

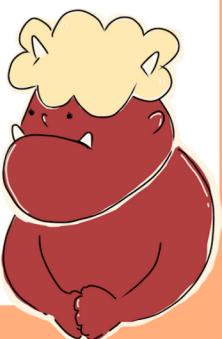


やってみよう！--その2--

▶▶鬼が主役の桃太郎◀◀

『桃太郎』は桃太郎たちの視点から書かれた物語だね。反対に桃太郎に退治された鬼たち

から見たら、この物語はどういうお話になるだろう？鬼から見た桃太郎はどういう存在かな。鬼視点の桃太郎の物語を、自分なりに考えて書いてみよう！



し
もっと知りたい！

じょうほう

▶▶情報リテラシー◀◀

ここまで桃太郎のお話をしてきたけれど、みんなが暮らす現実の世界に目を向けてみよう。

ニュース、インターネット上の出来事、友達との会話、いろいろなところでの噂話、

わたしたちは情報にあふれた中で生活しているね

自分が実際に体験したこと以外は、見たこと聞いたことの事実と真実はわからないから、

そのまま信じてしまうのは危険なんだ。世の中には悪意を持って、間違った情報を流したりみんなが勘違いするような表現をする人たちがいるからね。

信頼できる人からの情報や間違っていても問題ないこと以外は、常に「その情報が本当に正しいのか？」という気持ちを持つことも大切だよ。

いもうと
Aちゃんが妹のBちゃんにいじわるして泣かせたんだって



Bちゃん

Aちゃん



いじわるするなんてAちゃんが悪い



おおな
Bちゃん大泣きしてたよ。可哀そう



だいじ
ほん
大事な本をBちゃんに貸したんだって



ほん
らくが
み
Bちゃんが本に落書きしてるので見たよ

じじつ
ここでの事実は

いもうと
Aちゃんが妹のBちゃんを泣かせた

おおな
ということ。Bちゃんが大泣きしていたのも事実だね。

ほか
ひと
じょうほう
き
ほんとう
わる
でも他の人の情報をよく聞いてみると、本当にAちゃんだけが悪いことをしたのかな？
き
と気がつくこともあるかもしれないね。

じじつ
しんじつ
し
ばあい
事実と真実を知りたい場合は、1つ(1人)からの情報だけでなく、複数の情報源(ニュースや
ひと
じょうほう
あつ
くら
じぶん
かんが
ひつよう
人)から情報を集めて比べて、自分でしっかりと考えることが必要だね。

かいせつ

►►『桃太郎』の中の真実◀◀

ものがたり なか

◆ 物語の中ではっきりしてること

ももたろう ものがたり なか か み
桃太郎の物語の中で、はっきりと書かれたことは見つかったかな。

たと 例え おじいさん おばあさん 桃太郎がいたこと。これは物語をどう読んでも絶対に
ひてい 否定できないことだね。これらのように（物語の中で）実際に起こったこと、実際にあつ
たことを「事実」というんだ。



はんたい ものがたり なか か
反対に物語の中ではっきりと書かれていないこともあったよね。

ももたろう にんげん おも よ
たとえば桃太郎は人間だと思って読んでいたかもしれないけれど、

にんげん あか か
どこにも人間の赤ちゃんとは書かれてないね。わたしたちは物語に直接的には書かれてい
ぶぶん そうぞう よ
ない部分も想像して読むことがあるんだ。これを「推測」というよ。

ものなり じぶん み まわ お なに じじつ なに そうぞう おも こ
物語だけじゃなく自分の身の回りに起きたことでも、何が事実で、何が想像や思い込みで
つけ加えられた情報なのか、しっかり分けて考えることは大事だよ。

►►鬼が主役の桃太郎◀◀

ものがたり なか しんじつ

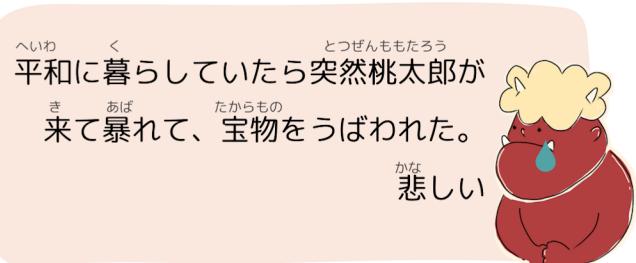
◆ 物語の中の真実

ものがたり なか えが じじつ ももたろう おに たたか たからもの も かえ
物語の中で描かれている事実は「桃太郎が鬼と戦って宝物を持ち帰った」ということ。

ももたろう してん おに してん み ちが
でも桃太郎の視点と鬼の視点では、見えてるストーリーは違うんだ。



わる おに たいじ
悪さをしているという鬼を退治して、
たからもの も かえ
宝物を持って帰った。
しあわ
みんな幸せになったよ。



へいわ く とつぜんももたろう
平和に暮らしていたら突然桃太郎が
き あば たからもの
来て暴れて、宝物をうばわれた。
かな 悲しい

たちば み ほんとう しんじつ しんじつ とうじょうじんぶつ かず
このようにそれぞれの立場から見た本当のことを「真実」といって、真実は登場人物の数
だけあるんだよ。桃太郎と鬼だけでなく、犬キジ猿からみた物語、おじいさんおばあさん
み ものがたり みんな ちが ものがたり えが
から見た物語。皆それぞれの違う物語を描いているかもしれないね。

か ものがたり かく
書かれた物語は1つでも、そこにいくつもの物語が隠されていることもあるんだね。



大人の皆さんへ

STEAM教育においては科学に触ることと同じくらい、情報を読み解く力や整理する力、多角的に物事を考え判断する力が重要視されています。今回のプログラムはよく知っている昔話を題材に、書かれている事実と自分の中で無意識に補完している内容があることを理解し、視点を変えると同じ物語がどのように見えるかを考える内容となっています。「情報を正しく読み解く力」は情報社会の現代では必須のスキルです。

1) 事実と真実を切り分ける

桃太郎の物語に出てくる「鬼」の存在をみてみましょう。

物語の中での事実は「鬼がいる」ということです。これは誰が見ても間違いはありません。対して真実は、桃太郎たちからみたら「悪さをする鬼がいる」、鬼たちからみたら「鬼としての生きている自分たちがいる（悪さをしてるつもりはない）」となります。どちらも本当のことを言っているので間違っていません。また私たち読み手の主觀による「真実」もあるでしょう。

「事実」は実際に起こったこと、存在すること。客観的にみた事柄。

「真実」は事実に対するその人にとっての本当のこと。主観的な考え方。

つまり桃太郎の物語は、桃太郎側の真実でしか語られていない話ということになります。物語というものは1視点でのみ語られることが多いので、細かく読み解く場合は「事実」とそれぞれの「真実」が何なのかを気を付けて振り分けていく必要があるのであります。物語に限らず様々な思考をする時は、明確な事実と主観の入った考えをはっきりさせることは、とても大切です。

2) 「真実はいつも1つ」？

よく聞くフレーズですが、真実は人それぞれの場合もあれば、皆が一致する場合もあります。真実は「共通で認識されている本当のこと」という意味合いで使われることも多いので、「真実は1つ」も間違いでありません。

事実：ケーキを作った



[リスさんの真実]
わたしのために
作ってくれたもの



そうなんだ

[料理人の真実]
みんなのために
作ったもの



[真実(共通認識)]
みんなのために
作ったケーキ



3) 多角的な視点

桃太郎に退治された鬼の視点での物語を想像してもらいましたが、1つの事実に対して様々な視点で物事を見ると、新しい物語が生まれることに気がついたのではないでしょうか。勧善懲惡の形で描かれる桃太郎は、別の視点から見ると「桃太郎は本当に正義だったのか？」という議論にも発展します。様々な方向から考えることは、情報を正しく理解し自分の頭で判断する土台となっていくので、慣れておくと社会生活においても役に立つでしょう。

- ・「正解」にこだわらないようにしましょう。また必ずしも正解は1つではありません。
- ・遊びながら考え、体験することが学びへの第一歩です
- ・子どもが導き出した答えを受け止め、どうしてそう考えたのか理由を聞いてみましょう
- ・答えがでなくても問題ありません。考えてやってみることが大切です
- ・大人も子どもも一緒に、コミュニケーションをとりながら新しい発見を楽しみましょう



このページは、**き**気になつたことや、**き**気づいたことを
メモするのに使つてね！



企画：国立青少年教育振興機構
制作：チームTan.Q
　　／合同会社そらときカンパニー／
　　＼合同会社etariya-oh＼

当コンテンツの一部または全部を無断で転載、転用することはご遠慮ください。
学校、団体などで当コンテンツを活用する場合はご連絡ください。

ももたろう 桃太郎



むかしむかしあるところに、おじいさんとおばあさんがいました。

おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。おばあさんは川で洗濯をしていると、どんぶらこっここと大きな桃が流れてきました。おばあさんは桃を持って家に帰り、桃を切りました。すると、なんと中から男の赤ちゃんが出てきました。おじいさんとおばあさんはその子を「桃太郎」と名付け、大事に育てました。

桃太郎が大きく成長した頃、遠い鬼ヶ島というところに住む鬼が悪さをしているという噂をききました。桃太郎は鬼を退治しにいくことにします。

桃太郎が鬼退治に出かける日、おばあさんは桃太郎に「きび団子」を持たせます。鬼ヶ島へ向かう途中、桃太郎は猿とキジと犬に出会います。桃太郎は猿キジ犬にきび団子をあげ、鬼退治のお供にしました。

鬼ヶ島に着いた桃太郎一行。皆の力を合わせて、強くて大きい鬼たちを退治しました。鬼が持っていた宝物をいただき、家に帰った桃太郎。その後おじいさんおばあさんと一緒に幸せに暮らしました。

おしまい



※当プログラム内での『桃太郎』のストーリーです。
正式な日本昔話とは内容が異なる可能性があります。

■ 内部用資料 ■

▼対象者

小学校中学年から

「鬼の視点で桃太郎を考えよう」は低学年でもできると思われる。（鬼視点の桃太郎の話を作つてみようという形で）

▼プログラム概要

国語と思考。

昔話をベースに、事実とそこから読み取れる事柄を整理し、多角的に読み解く。実際に起こったこと（事実）と、それぞれのイメージの中で起きてることの切り分け。

有名な物語を題材にしているので、今回の物語には書かれていない描写や事実を頭の中で勝手に補完して読んでしまうこともあるかもしれない。書かれていること＝事実と、明確には書かれていないこと＝あいまいな事柄（想像）が使われ物語は進んでいくことに触れる。

片一方からの視点のみで語られた物語で、事実とあいまいなことを正しく切り分けながら、この物語の本当の姿を考えていく。

最後に描かれていない視点からの物語を自分なりに考えて書いていく。

▼プログラム（ワーク）内容

①『桃太郎』の中の真実

物語（このプログラムに付属の物語を指す）の中で明確に書かれていることと、明確にかかれてはいないけれど「桃太郎と言えばこうだ」という自分の中にある思い込みや別の知識を切り分ける。

無意識のうちに事実と推測をごちゃ混ぜにしてしまっていることがあるかもしれないことに触れるきっかけにする。

②鬼が主役の桃太郎

鬼から見ると全く別の物語になるかもしれない。自分で想像しながら物語を作る。

③もっと知りたい

情報リテラシー

現代社会では必須スキルの情報リテラシー。ネットや人のうわさ話を鵜呑みにしないことの大切さ

▼ポイント

昔話をベースに読み解いていく情報整理力と、文章を紡ぐ国語力。

物語は桃太郎以外でも何でも対応可能。高学年以上には現実のニュースなどを題材にするのも良い